

情報公開内容（以下の内容を検査部 HP 上に公開する）

ヒトの血圧制御機能の解析に関する研究

1. 研究の対象

2001年8月～2014年3月までの間に血圧制御の研究に協力していただいた方

1999年11月～2023年12月までの間に本院で起立性低血圧が疑われ、自律神経負荷検査を受けた方

2. 研究目的・方法

血圧を安定させるためのフィードバックシステムである交感神経圧受容器反射は、日常の様々な外乱、特に起立などによる血圧低下をすばやく安定させる。このシステムが機能することで、ヒトは起立することができるが、どれだけの強さと速さで血圧をコントロールしているかは不明である。これらを解明するには、圧受容器反射系を遮断することでシステムを開ループとし、血圧および交感神経を変動させ、システムのゲインおよび動特性を解析必要がある。ヒトでは薬物的にフィードバック系を遮断し、外乱、血圧、ノルエピネフリン値を測定し、それぞれを変化させることで解析が可能である。そこで、

- 1) 動脈圧とノルエピネフリン値の平衡図
- 2) ランダム起立負荷を用いた動的反応解析
- 3) ノルエピネフリン静注の血圧に対する経時的効果

の3つの方法を用いて、ヒトの血圧制御機能を解析し、圧受容器反射系異常を評価する。

1999 - 2023 に、これらの検討を行いデータを収集しているが、今回そのデータを解析し、学会・論文発表するための観察研究を行う。

これらの結果より、ヒトの血圧安定化システム(圧受容器反射系)の機能を定量的に評価することができ、血圧変動、特に起立性低血圧の診断・治療に有用な新しい指標を提供できる。

研究期間：倫理委員会承認日～2026/2/9

3. 研究に用いる試料・情報の種類

上記期間に収集した電子媒体および紙媒体に記録したデータ、診療情報等

4. お問い合わせ先

〒783-8505

高知県南国市岡豊町小蓮

高知大学医学部検査部

TEL: 088-866-5811(代表) (PHS 36524)

研究責任者、山崎文靖

-----以上